

まごころいっぱい、笑顔いっぱい

～おもちゃ図書館活動～



社協だより

149号

平成25年12月1日

発行

社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

主な内容

おもちゃ図書館活動紹介
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる贈呈
歳末たすけ合い募金始まる
サンクススポーツ振興財団・博多のびっこ幼稚園から寄付
ボランティア入門講座を終えて
ボランティアネットワークに登録しませんか？
在宅介護者1日リフレッシュセミナー案内

つながれひろがれ 地域福祉! シリーズ®

「障がいのある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まった「おもちゃ図書館」ボランティア活動。当市においておもちゃ図書館がスタートした当時は、障がいのある子どもとその兄弟のための活動でしたが、現在は、高齢者の機能訓練としても利用されています。将来は、障がいの有無や年齢を超え、一人一人の違いを認め合い、共に遊び交流できる場所づくりをめざしています。

宗像おもちゃライブラリー代表

朝倉啓子さん

私たち「宗像おもちゃライブラリー」は、「できる人が、できることを、できる範囲で活動する」をモットーにおもちゃ図書館の運営、管理と布のおもちゃの製作を行っています。おもちゃ図書館移転を機に、新たなメンバーで歩み始め、布の絵本の製作も一歩一歩前進し、ボランティアも増えています。

今後は特別支援学級、療育教室などへの出張おもちゃ図書館にも力を入れていきたいと考えています。おもちゃの役割と遊びの重要性を、広く数多くの人に知ってもらい、おもちゃと人をつなぐ架け橋になりたいと思います。

障がいのある人、子ども、高齢者にとって笑顔あふれ、楽しい、心安らぐ場所であり、ぜひ行きたいおもちゃ図書館をめざし頑張っています。



②おもちゃ図書館活動のいろいろ

布のおもちゃづくり

身近な素材の布製の絵本や的あて、お天気カレンダーなどを作っています。数を覚えたり、ひもの結び方を学ぶなど、教材としても使われています。

おもちゃの貸し出し

成長やニーズに合わせ選ぶことができ、一定期間貸し出しします。

出張おもちゃ図書館

要請に応じ、市内で開催されるイベント、療育教室や特別支援学級などにおもちゃを持って出かけていきます。外出が困難な障がい児者に対する訪問型図書館です。



①どんなおもちゃがあるの？

楽しく遊べ、心身の成長を促す創意工夫と愛情が込められた手作りの布のおもちゃや国内外から集めた物が約800点あります。安全で安心して遊べるおもちゃばかりです。



③誰がやっているの？

市社会福祉協議会がボランティア団体「宗像おもちゃライブラリー」に委託して運営しています。図書館スタッフは全員ボランティアです。ふくおか子育てマイスターもいます。



おもちゃ図書館
開館日のお知らせ

12月28日は、年末のため休館します。
年明けは、1月9日から開館します。

問い合わせ先
ボランティアセンター

☎(37)4100

イオンの黄色いレシートに託される心遣いに感謝

毎月11日を「いい日いいまちイオンデー」ということで「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」がイオンモール福津店で実施されています。この日から3日間、お客さんが受け取った黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれたボックスへ投函します。そのレシートのお買い上げ金額合計の1%をそれぞれの団体に品物としてイオンが寄贈する仕組みです。買ひ物が「ただの消費」から「地域貢献につながる消費」ということで推進されています。



10月25日にイオンモール福津店で贈呈式があり、市社会福祉協議会ほか11団体に寄贈されました。

イオンモール福津店の橋本店长(左)から贈呈されて謝辞を述べる宗像市社会福祉協議会の牧課長



**みんなで
支えあう
あたたかい
地域づくり**

歳末たすけ合い
募金が
始まりました

福岡県共同募金会
宗像市支会では、12
月から(一部11月よ
り実施)「歳末たす
けあい運動」に取り
組んでいます。

この運動は、「新
たな年を迎える時期
に、支援を必要とす
る人たちが地域で安
心して暮らすことが
できるように」との
目的で、民生委員・
児童委員の協力で実
施しています。

昨年いただきました
募金は、低所得世
帯をはじめ小地域福
祉会や福祉団体、子
育てサークル、子育
てサロンなどにも配
分し、有効に活用さ
れました。

年末の何かと出費
の多い時期ですが、
今年もみなさんの協
力をお願いします。

寄付ありがとうございます。

サニックススポーツ振興財団

グローバルアリーナで開催されたスペシャルオ
リンピックス(知的障がい者のスポーツ大会)九
州ブロック大会に先立ち、サニックススポーツ振興財団(宗
政伸一理事長)から市社会福祉協議会(福本義雄会長)に
1000万円の寄付をいただきました。

9月26日の市役所での
贈呈式のおり、宗政理事
長の「大会を契機に障が
い者の支援充実につなげ
たい」という意向を受け、
福本会長は「寄付金を原
資に基金を創設し、障が
い者福祉に有効に活用し
たい」とお礼を述べまし
た。



左から寄付を受け取る福本会長、
宗政理事長、谷井博美市長

博多のびっこ幼稚園

宗像ユリックスで8月23日に「博多学園幼稚園フェスタ
IN むなかた」が開催されました。主催した学校法人博多
学園幼稚園(八尋太郎理事長)が運営する7つの幼稚園によ
るフリーマーケットやカフェなどの収益金374,020
円全額の寄付をいただきました。

多額の寄付をありがとうございました。
ご厚志に沿うように地域福祉推進のために
有効に活用します。

ボランティアセンター通信

日曜日(第1土曜日)祝日を除く午前9時30分~午後5時(TEL)4100(内)374101
ホームページアドレス <http://kouryukan.com/v-ne/>
メールアドレス v-ne@syakyo.munakata.com

**ボランティア
入門講座を終えて**

ボランティアの
基本を学び、
意欲高まる!
11月12日(火)

今年のボランティア入
門講座には、「ボランティ
アってなんだろう」「何
かをはじめてみたい」な
ど、ボランティア活動に
関心のある30~70代の22
人が参加しました。



講師の藤野さん(中央)から
アドバイスを受けている参加者

今回は、市民学習ネッ
トワークの有志指導
者藤野秀雄さん、手
話サークル「シユ
ワッチ」のみなさん
に協力してもらい
「絵手紙」の作成、
ボランティア
アの基本と
なる「互い
を思いやる
心」を学び
ました。その後
「絵手紙」作成
を通じ、観察力、
想像力を磨きま
した。

参加者からは



班内で作品を
発表しています

「さっそく自分でもでき
るボランティア活動をは
じめたい」「もう一度、
ボランティアの心構えに
ついて考えなおすことが
できた。今後の活動に
生かしていきたい」「絵
葉書を通じて相手を思い
やる心を学ぶことができ
た」など、参加者それぞ
れがボランティア活動への
意欲を燃やしていました。

**ほんのひと時、介護の手を休めてリフレッシュしませんか?
在宅介護者1日リフレッシュセミナーの案内**

市内在住で、在宅介護をしている人を対
象に「在宅介護者1日リフレッシュセミナー」
を開催します。

このセミナーは、在宅介護者のリフレッ
シュを目的として実施し、市在宅介護家族
の会「ひまわり」の役員も同行します。

今回は、博多に買い物とイルミネーショ
ンを見に行きます。ぜひ参加してください。

- 主催/市、市社会福祉協議会
- 日程/12月9日(月)
10:00~15:40(予定)
- 対象/市内在住で、
在宅介護をしている人
- 行先/福岡市博多方面
- 参加費/1人1,000円
- 定員/30人(多数の場合は抽選)
- 申込方法/
12月4日(水)までに市社会福祉
協議会 ☎(37)1300へ

**寄付
ありがとうございます**

ありがとうございます

- 〔香典返し〕(敬称略)
- ・(故)中村登 (日の里)
 - ・(故)赤木トシヨ(自由ヶ丘)
 - ・(故)中野虎廣(牟田尻)
 - ・(故)黒石友猪 (江口)
 - ・(故)八尋正 (鐘崎)
 - ・(故)次郎丸勝子(平井)
 - ・(故)篠原ミサヲ(池田)
 - ・(故)田畑豊子(用山)
 - ・(故)日南義昭(田野)
 - ・(故)高野玉世(鐘崎)
 - ・(故)小浜利良(土穴)
 - ・(故)遠藤三笠(大島)
 - ・(故)松本ます(稲元)
 - ・(故)花田武虎(田野)
 - ・(故)花田静枝(田野)
 - ・(故)佐藤トヨコ(自由ヶ丘)
 - ・(故)宗岡キミエ(三郎丸)
- 〔一般寄付〕(敬称略)
- ・財団法人サニックス
スポーツ振興財団
 - ・学校法人博多学園
- (平成25年10月31日受付分
まで)

市社会福祉協議会では、随時
寄付を受け付けています。地
域福祉の推進のために、ご協
力をよろしくお願いいたします。

社協だよりは、偶数月の1日号です(年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37)1300
大島支所 宗像市大島180番地32 ふれ愛センター内 ☎(72)2294
ホームページアドレス <http://syakyo.munakata.com/>
メールアドレス info@syakyo.munakata.com